

池 田 市

子育て支援に企業も協力 「エンゼル祝金制度」の見直し

はじめに

全国的にも出生数が低下し、少子化が進行している状況の中で、本市では、何とか子どもを増やすきっかけをつくれなにかとの思いから、子育てを支援し活力あるまちづくりをめざして、平成9年に「エンゼル祝金条例」を制定しました。この制度は、第3子以上が誕生した家庭を対象に、第3子には2万円、第4子には20万円、第5子には30万円を贈呈するというものです。

この制度を知った地元自動車メーカー・ダイハツ工業(株)から、「家族が増えれば2台目の車が必要になるのではないか。地元企業として協力したい。」と、4人目以上の子どもが生まれた家庭に、軽乗用車を3年間無料で貸し出すサービスの提案が寄せられました。使用者の負担は任意保険とガソリン代などで、自賠責保険、諸手続き費用は同社が負担し、3年間のレンタル期間終了後は、希望があれば中古車価格で販売されるというものです（貸し出しは1家庭に1台）。

ユニークな取組でイメージアップ

当時、少子化対策として出産家庭に祝金を出す自治体は800団体を超え、祝金以外にアルバムや商品券を贈る事例もありましたが、車の貸与といったケースはありませんでした。この取組は、行政のみならず企業からも子育て支援策にご協力いただくことで、市のイメージアップにもつながっているものと考えています。

当初は、平成9年度から平成13年度までの5年間の時限条例として運用してきましたが、官民一体となった取組がマスコミでも取り上げられ大きな反響



を呼んだことから、市も企業もこの事業を引き続き平成24年3月まで継続することとしています。現在では本市のユニークな子育て支援施策として定着し、平成18年度までに72世帯が利用されています。

大阪府の事業が制度拡充を後押し

一方で、「すべての子どもの誕生を祝福すべき。」という市民からの強い要望も寄せられており、「新生児の9割を占める1人目、2人目の出産も支援しないと出生率の向上は望めないのではないか。」との意見も交わされましたが、出生数が多いだけに費用をどうまかなうかが課題となっていました。

そこに、大阪府の出産育児応援事業のニュースが飛び込んできました。大阪府が第3子以降の出産時に1子につき5万円の応援金を贈る事業の実施を契機にエンゼル祝金制度を見直すこととしました。

その内容は、市がこれまで実施していた第3子への2万円は廃止し、第4子は15万円、第5子以上は25万円とそれぞれ5万円を減額。これによって生じた財源を、第1子・第2子への支援に転用しようというものです。第4子以上への受給額は、大阪府の事業との併用で同額となり、第3子については3万

円増額されることとなります。

広がる企業の協力の輪

第1・2子への支援についても、企業の協賛をいただくことにしました。

第1子については、祝品として最適と思う商品を複数のベビー用品メーカーから提案してもらい、市内の職員にアンケートを行い、人気の高かった「ベビーマグセット」を市が廉価で購入してプレゼントすることにしました。

また、第2子には地元の㈱池田銀行と市が5,000円ずつを負担し、額面1万円の赤ちゃん名義の積立式定期預金通帳を贈ることにしました。これらを「エンゼル祝品制度」として、府の事業と同時にスタートしました。企業の協力によりエンゼル施策の充実が図れたものと考えます。

子育てのまち池田へ！

平成17年4月に「池田市子ども条例」を制定し、子どもの育成に関する市の施策の基本的事項を定めました。また、児童エンゼル医療費助成（第2子以上の子どもの医療費を助成）、保育所児童エンゼル補助（第4子以上の子どもを対象に保育料相当分を補助）、幼稚園児エンゼル補助（第4子以上の子どもを対象に入園料・保育料を補助）などの施策を幅広く展開し、多面的に子育て支援に取り組んでいます。

今後も継続して「子育て」におけるニーズを把握し、子どもの成長に合わせて適切な施策を実施していくことが重要であるとの認識のもと、民間の協力を感謝しながら“元気な子ども達が育つまち・池田”づくりをめざしています。

サービス内容

	変更前	変更後
第1子	なし	ベビー用品
第2子	なし	1万円入り預金通帳
第3子	2万円（市のみ）	5万円（府のみ）
第4子	20万円（市のみ） 車賃5	20万円（市15+府5万円） 車賃5
第5子以上	30万円（市のみ） 車賃5	30万円（市25+府5万円） 車賃5

年度別出生子数集計表

(人)

	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上	合計
9年度	428	324	90 (81)	12 (11)	1 (1)	855 (93)
10年度	475	338	90 (85)	9 (8)	2 (2)	914 (95)
11年度	461	327	89 (84)	11 (12)	3 (3)	891 (99)
12年度	446	320	99 (92)	14 (14)	3 (3)	882 (109)
13年度	465	350	97 (94)	13 (11)	6 (5)	931 (110)
14年度	393	313	75 (70)	17 (18)	1 (0)	799 (88)
15年度	442	305	75 (72)	12 (13)	2 (2)	836 (87)
16年度	442	314	83 (76)	12 (11)	1 (1)	852 (88)
17年度	359	329	75 (71)	15 (14)	2 (2)	780 (87)
18年度	454	323	83 (80)	11 (12)	7 (5)	878 (97)

()はエンゼル祝金受給者数